

積小為大を実践する生徒を育てる

令和8年度前川中学校学校経営グランドデザイン

学校教育目標

自学・親愛・鍛錬

- 【関係法規・法令】
- 日本国憲法 ○教育基本法
- 学校教育法関係 ○学習指導要領
- 埼玉県教育行政重点施策
- 埼玉県教育課程編成要領

【三郷の教育「社会力」の育成】

- 学校＝地域の拠点
 - ・異年齢での交流を促進し、相互理解を得る。
 - ・「学校」は「地域人材」を活用する
 - ・「地域」は「学校」を拠点に活動する
- 探究的な学びの充実
 - ・課題を発見し、協働で解決する
 - ・優秀を超えた学びの場を提供する
 - ・デジタルとアナログを使い分ける
- 本でつながる
 - ・「読書フェスティバル」の充実
 - ・「家読ゆうびんコンクール」の実施
 - ・開かれた「学校図書館運営」の推進

今年度の重点目標

学力向上を支える「地域連携×キャリア教育」の展開

- 個別最適な学びと協働的な学びへのチャレンジ（「授業の型」研究とICTの効果的活用）
- 教科横断的にキャリア教育を実践する（進路学習のさらなる質的向上）
- 地域の方々に学校に「入れる」←→学校の生徒を地域に「出す」

〈目指す生徒像〉

- 1 創造的で、将来を見据える生徒(夢)
- 2 自ら学び、自ら考える生徒(知)
- 3 自己を愛し、友を愛し、思いやりをもつ生徒(徳)
- 4 進んで体と心を鍛え、健康でたくましい生徒(体)

〈目指す「地域+学校」像〉

- 1 前川エコステーションの地域運営
- 2 学校図書館の一般開放
- 3 地域活動の学校実施⇄体験授業

主体的な学習意欲を育む

(学力向上部会)

スタディサプリ×フォーサイト手帳

- ・MGPT（前川学習プランニングタイム）で家庭学習内容を決定してフォーサイト記入する
- ・自分の課題をわかり必要な学習をわかる
- ・読書リストの活用（家読ゆうびんへの取組向上）

▶ 県学調伸ばした生徒の割合県平均以上・学力検査10段階評価3以下15%以下へ

将来をみつめる“探究的な学び”の実践

(特別活動部会・総合的な学習の時間部会)

「社会力」を育む探究的な進路学習

- 1学年 自己を知る・他者を知る
 - 2学年 自分と社会のかかわりを考える
 - 3学年 自分と社会の未来を考える
- ※宿泊・学校行事への取組（事前・事後学習の充実）

▶ 学校自己評価（生徒）「進路学習」に関わる項目において3.8ポイント（4ポイント中）を達成させる

個別最適・協働的な学びへの挑戦

(研究推進部会)

前川中教員チャレンジ「私の授業を見てください」

- ・問題解決型・技能習得型・単元型等から各教科の特性に即した「学習課題とまとめ+振り返りのある授業」を展開する
- ・複線型授業・自由進度学習・STT方式等導入し「生徒個々を伸ばす」授業の在り方を研究する

▶ 「主体的・対話的で深い学びの視点による質問紙調査」による結果検証（各教科・各教員）に目標値を設定する

業務改善（負担軽減）策①学校と地域との“共助”

- ・学校運営協議会委員、学校応援推進委員のサポート活用
- ①多様な体験学習の実践（大人としゃべり場 ほか）
- ②学校を地域拠点とする取組（前川エコステーション・学校図書館の地域運営等）
- ③ゲストティーチャーの活用（学校を使った南児童館との共同事業実践）
- ・生徒自ら参加する「地域活動」の推奨（地域ボランティア、地域防災等）
- ▶ 目標：地域連携による負担軽減を実感する教職員 90%超え

業務改善（負担軽減）策②指導力向上による“時短”

- ・「スピードと誠意」ある対応の徹底（組織的対応力の強化）
- ・教職員間で「チャンス相談」がある職員室づくり
- ・大人モデルの自覚を高め「不適切な言動」撲滅
- ・「報告・連絡・相談・見届け」の徹底
- ・研究推進部主催の「私の授業を見てください」企画への積極的な参画（勤務時間内の研鑽に努める）
- ▶ 目標：勤務時間外在校等時間年 360 時間以内の教職員 80%超え

学校の「教育活動」の支え

自己存在感を感受できるようしかける

- ・学習意欲低下による不登校発現の未然に防ぐ（教師の授業力向上）
- ・不登校の状況にある生徒への学習を保障する（スタディサプリ活用）

生徒指導4つの視点を携え、生徒に冒険をさせる

共感的な人間関係を育てようしかける

- ・教師のローテーションによる道徳を実践する（多様な大人との対話）
- ・短学活・給食指導・清掃指導・登下校指導等 の共通行動を徹底する

自己決定の場を与えるようしかける

- ・不要な支援は排除する
- ・安易に「答え」を与えない
- ・失敗しても簡単に助けない
- ・迷わせ、考えさせ、納得解を見出させる

生徒の「社会力」の育成

安心・安全な風土をつくるようしかける

- ・授業規律を徹底する（授業の心得）
- ・生徒情報（状況）を詳細に把握する
- ・「相談してもよいと思える先生」になる
- ・さわやか相談員・SCと日常的に連携する